

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003. 10. 22

参加者 高松（仁美小）松本（国府小）福井（伊島小）

今回は福井が修学旅行に行っており、誠に勝手ながら休会させていただきました。今回は3人でしたが、話題が多く、ここに書き切れないことがとても残念です。現在進行形の理科の授業のこと、図画や作文の指導のこと、DVDライブラリーの整理方法など、今聞きたいことが聞けて、とてもラッキーでした。

【大地のつくりと変化】高松・福井

6年生の『大地のつくりと変化』は、地域差の大きな単元で、特徴的な露頭がない学校では子供達の興味を引くためにあの手この手の工夫が必要となります。高松先生の仁美小も福井の伊島小も風化花崗岩しかない学区です。そこで高松先生の場合は地面の下を想像させ、体積実験器で地層モデルを作らせ、地層探検隊を作って仁美小学校区の地層が水の働きで出来たものかそれとも火山の働きによるものなのか調べたようです。福井の場合は、まず栃木県塩原の木の葉化石園（tel 0287-32-2052）から取り寄せた化石を含む石と理科室にあった方解石をくらべさせました。化石は横に縞模様があり、触ると粘土の粉がつきます。これは泥岩であり、水の働きによって作られたものです。一方、方解石は透明な結晶が見えます。結晶はマグマが冷えて固まるときにできたものなので火山の働きによって作られたと考えられます。こうして石には水の働きで作られたものと火山の働きで作られたものがあることを理解させた上で理科室にある鉱物標本を分類させます。授業の終わりには大阪岸和田の群晶（tel 0725-53-2521）で買った水晶を渡しました。



【男と女はいつから分かる？】松本

パワーポイントを使った保健学習用自作教材です。同僚から借りた0才から20才までの写真をランダムに提示し、それが男か女か当てるという面白い導入です。0才に近いほど男女の区別が付きにくく、高校生くらいになると間違えることはまれになります。ではどこがターニングポイントになるかというところから二次性徴とホルモンの働きを学習していきます。



【放射温度計】松本

拳銃型の放射温度計。測定したい物に向けてボタンを押すとレーザーでマークした周辺の温度をデジタル表示します。物質はその温度に応じた波長の赤外線を出しています。この赤外線をとらえ、ものの表面温度を表示するのが放射温度計です。

【所さんの目がテンのやり方を取り入れた図画指導】高松

図画の指導についてはすでに静観台では定評のある高松先生ですが、今回は『所さんの目がテン』で紹介されていたデッサンと彩色のやり方を取り入れた四つ切サイズの作品を見せてくれました。やはりすごい！堀江優の共同制作やキミコ方式のやり方なども柔軟に取り入れ、独自の世界ができています。

【その他：作文指導、空気の伸び縮み、4年生『電気のはたらき』、寒天で作る地層模型…など】